

小倉貴久子 特別講座

フォルテピアノの特性を踏まえた 古典派ピアノ曲の演奏法

～現代ピアノで「らしく」弾くためのヒント～

特別企画！当時の楽器を使用して



小倉貴久子 (おぐらきくこ)

東京藝術大学を経て同大学大学院ピアノ科修了。アムステルダム音楽院を特別栄誉賞“Cum Laude”を得て首席卒業。第3回日本モーツァルト音楽コンクールでピアノ部門第1位。1993年、ブルージュ国際古楽コンクールでアンサンブル部門第1位。1995年、同コンクールのフォルテピアノ部門で第1位と聴衆賞を受賞。以後、ソロ、室内楽、協奏曲など、バロックから近現代まで幅広いレパートリーで活躍。TV、ラジオへの出演も多い。これまでにCDを40点以上リリース。それらの多くが朝日新聞、読売新聞などの各新聞紙上や『レコード芸術』誌等で推薦盤や特選盤に選ばれている。CD「イギリス・ソナタ」は平成24年度文化庁芸術祭レコード部門(大賞)受賞。東京藝術大学古楽科非常勤講師。

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派ピアノ曲が作曲された当時のピアノ(フォルテピアノ)は、現代ピアノとは違ったしきみを持っています。どのような違いがあるのでしょうか。また、これらの作品を現代ピアノで演奏する際、フォルテピアノの特性をどう活かしたらよいのでしょうか。そして、古典派時代にみられた特有の奏法とは？

フォルテピアノの第一人者が、以下の楽器を実際に演奏しながら解説します。

クラヴィコード：ニコラ パラッチー 1776年 ローマ、ピアノ発明者・クリストフオリのピアノ 1726年製の復元楽器、マテウス アンドレアス シュタイン ca.1820年 ウィーン、ジョン フロッドウッド&サンズ 1821年 ロンドン、コンラート グラフ 1825年 ウィーン、ヨハン バプテスト シュトライヒャー 1846年 ウィーン、エラルド 1851年 ロンドン、ペーゼンドルファー ca.1900年 ウィーン (フォルテピアノ ヤマモトコレクション所蔵)

◀ 講座内容 ▶

- ◆作曲家がイメージしたのは「この楽器」での演奏だった！
フォルテピアノの特徴
- ◆古典派ピアノ作品を弾く・教える前に知っておきたい
古典派時代特有の奏法
- ◆演奏のレベルと説得力がアップする
フォルテピアノの特徴を現代ピアノでの演奏に活かす工夫
「ここってどう弾くべき？」のお悩みが解決するかもしれません！



●日時

2018年 11月23日(金)
13:30～16:30

●教材

「フォルテピアノから知る古典派ピアノ曲の奏法」
(音楽之友社) ※当日会場でも販売いたします

●会場

スペース クリストフォーリ堺
〒599-8126 堺市東区大美野 119-12

●お問合わせ・お申込み先

ぽこあぽこピアノ教室

<http://www.pocoapoco-piano.com>

TEL:090-3038-5515

メールアドレス:pocoapocopiano3@gmail.com

※QRコードからもお申し込みいただけます

主催:ぽこあぽこピアノ教室 担当:中西美江



●受講料(税込) 15,000円

- 受講者特典① 山本宣夫氏によるピアノ構造レクチャー
(フォルテピアノ ヤマモトコレクション 代表/フォルテピアノ修復家)
- 特典② 上記の貴重な楽器を試奏できます！

キリトリ線

ぽこあぽこピアノ教室

申込日 月 日

小倉貴久子 公開講座

2018年11月23日(金)

「古典派ピアノ曲の演奏法」

申込書

| | | | |
|--------|---|-----|--|
| お名前 | | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| TEL | | FAX | |
| E-Mail | | | |
| 備考 | | | |

※ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。